

申19号 2015年3月ダイヤ改正に関する申し入れ団体交渉 その1

第1項 2014年のダイヤ改正における課題を明らかにするとともに、2015年3月ダイヤ改正において課題解決に向けて、検証結果がどのように反映されているのか明らかにすること。

第6項 地方都市圏の輸送力を確保すること。

会社 首都圏は、前回改正の課題解決ではなく、ゼロベースに近い大きな改正

組合 地方で「前回改正でワンマン化 → 今回ツーマン化」の実態がある。ワンマン化の根拠と今回の変更理由は？

会社 量的、質的両面の利用状況を見ながら行っている。改正後の利用状況を見ながら修正も行う。

組合 利用実態に合わせて変更することは必要だが、地方の足を確保することが大切だ！

会社 地方の足の確保は、限りある人員の中で効率的に提供できるようにしていく。

組合 「改札車掌 → 便乗」になっていることが多いが、あえて便乗にする必要はない。この間の事故・事象を見て、車掌業務のあり方を再検討する時期ではないか。

会社 「改札車掌 → 便乗」の全体の流れはない。実態にあわせ指定するもの。必要な所には乗り、そうでなければ省略として指定する。操配上の都合で便乗となる。

ダイヤ改正後の検証を行い、課題があれば改善することを確認！

第2項 ダイヤ改正実施にあたっては、関係する社員、利用者に十分な説明を行う事。
また、行路作成、保守間合の確保、設備改修等万全な準備と体制を確立した上で実施すること。

【社員説明・教育について】

◇営業制度も大きく変更になり、教育を実施している。

ポータルサイトにQ&Aを掲載し随時リニューアルするなどのフォローをしている。

◇営業職場だけでなく、運車・工務職場でも現場をフォローする体制をとる。確認！

【行路作成について】

◇エラーの原因を捉まえ次回以降の改正に活かす

◇作成技術のレベルアップに継続的に取り組む

【保守間合の確保について】

◇間合い拡大の努力を引き続きする

◇困難な点もあるが、安全のために追求していく

【事前準備について】

指摘 上野東京ラインのエアセクション、京浜東北線の停通防止システム、新幹線ドア扱い、EM10など準備不足！

それぞれの原因を究明し、次回改正に向けて是正していくことを確認！

第3項 北陸新幹線開業に伴い、各駅からの接続列車およびアクセス列車の利便性を向上すること。
また、新駅開業に合わせて、自治体管理の設備等、必要な協議をおこなった上で改善をはかること。

組合 3セク化により信越線各駅でJRの切符が買えなくなるが、長野駅での対応が不十分ではないか。

会社 改正後の利用実態を見極め、駅の体制、乗り換え時間など、本社・支社で議論していく。

組合 飯山駅のトイレの水が凍る、待合室が不十分である。新幹線新駅としてJRの負担も考え良い駅にしなければならない！

会社 自治体との協議によりホームでなく1Fに待合室を整備したが、ホームにも整備する方向で検討中。

ダイヤ改正後も検証を行い、改善できる点は改善することを確認！